

平成29年度

岐阜高専地域連携協力会・岐阜高専

新コース開講!

入門コース

全2日5講座

中核人材育成塾

岐阜高専地域連携協力会では平成22年度から「中核人材育成塾」を開講し、毎年多数の受講者に参加いただき8年目を迎えました。

今年度は、昨年度までの「基礎コース」と「アドバンスコース」に加えて、これから中核人材をめざして活躍が期待される企業経験1～3年程度の方々を対象にした「入門コース」を新たに開講します。

この「入門コース」では、企業の各部署・部門で横断的に必要とされる基本的な知識と仕事への取り組み姿勢をわかりやすく解説します。新入社員をはじめまだ企業人としての経験が短い方々の参加をお待ちしています。

平成29年6月29日(木)開催

1. 自分の考えが相手に伝わる
コミュニケーション力を鍛える
2. 自分と職場の業務を改善する
5Sと見える化の進め方
3. 職場環境のリスクを考える
安全衛生・廃棄物取扱の基礎知識

平成29年7月13日(木)開催

4. ポイントを押さえ、成果をあげる
仕事術
5. 頼りにされ第一線で活躍する人材になるための
グループ討議

対象	職場のリーダーをめざす若手の皆様 入社1～3年程度
定員	各講座 30名（1社複数名も可）2日通しでの参加が基本です
時間	9:30～16:30 6時間（2日間計12時間）（9:00から受付）
会場	岐阜工業高等専門学校 図書館内 多目的ホール・ビデオルーム
講師	企業での豊富な経験や知識を有する岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が務めます
参加費	5講座受講者1名 8,000円×2日（地域連携協力会会員は 5,000円×2日） 受講申込と同時に協力会入会（年会費10,000円、但し、入会時年会費は入会月から11月末までの月数×1,000円）の場合は会員価格を適用します
詳細	岐阜高専地域連携協力会HP http://www.gifu-nct.ac.jp/techno/chikirenkei/

申込期限 平成29年3月22日（水）必着

申込方法 裏面の申込書(上記HPからダウンロードも可能)にご記入の上、FAXまたはEメールに添付で送付をお願いします

1. 自分の考えが相手に伝わる コミュニケーション力を鍛える

【概要】 社会へ出ると「チームワークで働く力」や「報連相の実行」が求められます。その要求に応じていくためには、お互いの意思疎通をはかり「信頼関係」を築く力として、「コミュニケーション力」を鍛えることが重要となります。

本講座では講師が長年にわたる企業生活の中で体得し、日頃から心掛けてきたことを中心に「コミュニケーション力」の向上策をわかりやすく解説します。(報連相＝報告・連絡・相談の略)

- 1) 「コミュニケーション力」ってなに？
- 2) コミュニケーションに必要な能力
- 3) 相手に伝わるためのポイント
- 4) 体験からの教訓

【講師】 坂井善幸

岐阜高専電気工学科を卒業後、大手電機メーカーのグループ会社にて、マイコン応用製品からパワーエレクトロニクス製品、電力会社向けのシステム製品に至るまで幅広い製品の開発設計業務を担当。設計開発業務のみならず、営業受注活動から生産改革活動に至るまで多岐にわたる分野での経験が豊富。退職後はコンサルタントとして「テクノサポートSAKAI」を創設。開発業務並びに生産改革業務を中心として企業を支援中。

2. 自分と職場の業務を改善する 5Sと見える化の進め方

【概要】 業務を進める上で、仕事の能率の良し悪しが言われます。仕事の出来栄も大事ですが、これと併せて仕事のスピードも重要となります。仕事のスピードを上げるにはムダな時間を省く事も大事な要素となり、業務に必要な道具類、各種の情報などを探すとすることは目に見えない隠れたムダであり、日常的に発生しています。5S(3S)と見える化を進めることは業務改善の大きな戦力となります。ここでは、5Sと見える化の進め方についてわかりやすく解説します。

- 1) 5Sとはどういうこと？
- 2) 見える化とは
- 3) 自分の身の周りの5Sと見える化

【講師】 向井軸郎

大手電機会社において、長年に渡り生産技術業務を担当し、製造現場での生産方式の改善、合理化投資などを経験。生産技術部門の責任者として技術分野の実務の経験と知識は幅広いものがある。現在、岐阜高専・産学官連携アドバイザー。

3. 職場環境のリスクを考える 安全衛生・廃棄物取扱の基礎知識

【概要】 製造現場では、さまざまな原材料や有害物質を設備などにより加工処理していますが、作業者が設備の不安全状態、有害物質などの有害要因と接触すると、労働災害・疾病発生のリスクが生じます。また、廃棄物を配慮せず取扱・排出することは、事故発生や環境影響のリスク、資源ロスが生じます。

このため、これらのリスクに目を向け、その対応方法について考えていきます。

- 1) 労働災害・疾病の発生、その防止の考え方
- 2) 安全の確保：設備の安全化、取扱教育、保護具
- 3) 職場環境の整備：有害要因のチェック・対策（物質転換、密閉、保護具）、取扱教育、環境測定
- 4) 廃棄物の取扱い：廃棄物の種類・中味チェック、分別保管

【講師】 三口栄一

自動車部品メーカーにて、長年地域環境対策に取組み、その対象は水質、騒音、土壌、地下水、廃棄物と幅広く、実態の把握から対策実施・管理までの実務を経験し、法規や技術・方法に豊富な知識を有している。近年は職場環境の改善にも取り組んできた。

平成29年 7月13日(木) 9:30~16:30

4. ポイントを押さえ、成果をあげる 仕事術

【概要】入社1~3年は、仕事の原則を知り、守り、ものにしていく重要な時期です。武道でいえば、守破離の“守”の年代です。

上司からの指示や命令をポイント（肝）を外さず効率的に実行しながら、自分ならではの工夫も加え、一味違った仕上げを目指し“見込みがあるなあ”とか“できるなあ”と、言わせたい/言われたいものです。仕事のポイントをしっかりおさえ、仕事を楽しみながら成果をあげる方法を広い分野で経験豊かな講師と一緒に考えましょう。

- 1) 品質・コスト・納期の性質と関係
- 2) グループ討議（互いに学び合きましょう）
- 3) 仕事向上術
- 4) “見込みあり”へのダメ押し

【講師】 廣瀬満浩

機械と電子工学を学び、大手事務機メーカーにて設計、品証、営業、サービス、経営企画を担当。この間に、米国（サービス担当）、香港（販売部門立上）、中国（駐在員事務所所長）に駐在。人事部長、子会社社長で定年となり、現在自動車部品製造会社に勤務。人材育成にやりがいを感じている。

5. 頼りにされ第一線で活躍する人材になるための グループ討議

【概要】これまでの4つの講座で、これから職場のリーダーをめざすために必要な知識・スキルや仕事に取り組む姿勢に触れました。それらを身につけ実践するためには、職場の仲間との良好なコミュニケーションが大切です。この「グループ討議」では、研修に参加いただいたいろいろな業種の方々と、4つの講座で学んだテーマを題材とした討議を通して、コミュニケーションの重要性とこれからの仕事への取り組みの改善点を考え、深めます。

- 1) 課題事例の説明
- 2) 課題解決についてグループ討議
- 3) 討議結果のまとめ
- 4) 討議結果の発表

【講師】 桜井邦彦

岐阜高専電気工学科卒業後、通信機メーカーでオンライン端末装置・ネットワーク通信端末装置などのデジタル回路や装置の開発設計・製品企画などを担当。開発部門にかかわる品質保証活動や原価低減活動の実務経験も持つ。現在、岐阜高専・産学官連携アドバイザー。